

」

青 営 大 号 外
令和7年12月16日

報道機関各位

青森県営農学校校長
(公印省略)

令和7年度青森県営農学校プロジェクト発表会・意見発表会について

本校では、学生の課題解決能力やプレゼンテーション手法等の習得、学習意欲の向上に資するため、2学年の学生が自ら課題を設定し、調査・研究に取り組んだプロジェクト学習の成果発表会、及び1学年の代表学生による意見発表会を、別添開催要領により開催することとしましたので、取材してくださるようお願いします。

1 日 時 令和7年12月23日(火) 10:30~15:00
令和7年12月24日(水) 9:30~16:00

2 場 所 七戸中央公民館
(〒039-2827 青森県上北郡七戸町字森ノ上210 TEL 0176-68-2920)

3 内 容 等 別添開催要領のとおり

報道機関用提供資料	
担当部署 担当者	青森県営農学校 校長 松江 利英
電話番号	0176-62-3111(代表)
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊(017-22-1111 内線:4967)

令和7年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会開催要領

1 目的

2学年の学生が自ら課題を設定し、調査・研究に取り組んだプロジェクト学習の成果発表を通して課題解決の方法やプレゼンテーション手法等を習得させるとともに、1学年の学生が将来の目標などに関する意見発表を通して学習意欲の向上を図ることを目的として、発表会を開催する。

なお、本発表会は、東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会に出場する代表者の選考を兼ねるものとする。

2 主催

青森県営農大学校

3 日時

令和7年12月23日(火) 10:30~15:00

令和7年12月24日(水) 9:30~16:00

4 場所

七戸中央公民館 大ホール

(〒039-2827 青森県上北郡七戸町字森ノ上210 TEL 0176-68-2920)

5 日程

【1日目】12月23日(火)		【2日目】12月24日(水)	
開会式	10:30~10:40		
意見発表	10:45~11:20	3課題	畑作5課題
第1部	11:30~12:00	畜産2課題	畑作5課題
昼食	12:00~12:40		11:50~12:30
第2部	12:40~13:45	果樹5課題	12:30~13:35
第3部	13:55~15:00	果樹5課題	13:45~14:50
			畑作5課題
			畑作5課題
			講評・表彰
		審査	14:50~15:30
		閉会式	15:30~15:50

6 概要

(1) 発表課題数

- ア プロジェクト発表 32課題(畑作園芸課程20、果樹課程10、畜産課程2)
イ 意見発表 3課題

(2) 発表課題名及び発表順序

令和7年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会プログラムによる

(3) 発表時間

- ア プロジェクト発表 1課題12分(発表10分、質疑2分)
イ 意見発表 1課題10分(発表8分、質疑2分)

(4) 発表方法

ア プロジェクト発表

- ・パワーポイント (Microsoft Office Power Point 365) による発表とする。
- ・画面は4：3とし、動画の利用は時間内で行う。

イ 意見発表

- ・口演とする。

7 審査員

審査員長：上北農林水産事務所農業普及振興室長

審査員：構造政策課担い手育成グループマネージャー

地方独立行政法人青森県産業技術センター野菜研究所栽培部長

地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所県南果樹部長

地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所酪農飼料環境部長

三沢地区農業士会会长

かみきたViC・ウーマンの会会長

宮農大学校長

宮農大学校教頭

8 審査報告及び講評

審査員長が行う。

9 表彰

(1) プロジェクト発表

最優秀賞：1課題

優秀賞：2課題

努力賞：3課題以内

(2) 意見発表

最優秀賞：1課題

優秀賞：1課題

努力賞：1課題

10 令和7年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会への代表者選考

(1) プロジェクト発表

上位得点3課題を本校代表とする。

(2) 意見発表

上位得点2課題を本校代表とする。

11 参集範囲

保護者、令和7年度学校関係者評価委員、外来講師、令和7年度農家実習受入農家、親元

又は自営就農予定学生出身市町村、県内高等学校、農業協同組合、

地方独立行政法人青森県産業技術センター、県関係機関 等

令和7年度青森県営農大学校プロジェクト発表会・意見発表会 プログラム

令和7年12月23日（火）

開会式 10:30~10:40

意見発表 10:45~11:20

No	課程	氏名	課題名（予定）
1	畑作園芸	佐藤 駿太朗	祖父の背中
2	畑作園芸	田村 凜	フラワーロス削減に向けて
3	果樹	立川 明	りんご高密植わい化栽培を通してスマート化について考える

プロジェクト発表 第1部 11:30~12:00

No	課程	氏名	課題名（予定）
1	畜産	竹原 真菜	ホルスタイン種育成牛への調教方法の検討
2	畜産	中井 茉林	黒毛和種経産牛における肥育技術と収益性の検討

＜昼食＞ 12:00~12:40

プロジェクト発表 第2部 12:40~13:45

No	課程	氏名	課題名（予定）
3	果樹	阿部 風花	アブシシン酸液剤の散布によるぶどう「ピオーネ」の果実品質向上
4	果樹	梅内 優斗	ぶどう「サニールージュ」の果実品質向上
5	果樹	今 咲良	おうとうの垣根仕立て樹の生育について（4年生樹）
6	果樹	今 琉斗	宮大のりんご「トキ」の果実が小さい原因の解明
7	果樹	齋藤 航大	ぶどう「シャインマスカット」におけるホルクロルフェニュロン液剤の処理濃度の違いによる食味や食感の比較

プロジェクト発表 第3部 13:55~15:00

No	課程	氏名	課題名（予定）
8	果樹	田澤 朋樹	りんご有袋栽培と葉取らず栽培の日焼け防止効果の比較検討
9	果樹	成田 龍樹	りんご「ふじ」と「シナノゴールド」の高密植わい化栽培における生育比較（定植2年目）
10	果樹	鳴海 拳太	葉取らず栽培と微量要素肥料の使用によるりんごの日焼け軽減と着色向上
11	果樹	藤本 翔多	液体肥料を使用したりんご「ふじ」の摘葉作業の省力化と日焼け対策
12	果樹	山崎 十三	りんごの早期摘葉による作業効率と果実品質の比較

令和7年12月24日(水)

プロジェクト発表 第4部 9:30~10:35

No	課程	氏名	課題名(予定)
13	畑作園芸	東 優希	とうもろこしの先端不稔対策の検討
14	畑作園芸	一戸 陸空	水稻無代かき栽培による収量・品質の調査
15	畑作園芸	伊藤 栄香	少量培地耕を利用した小ギク栽培における短茎栽培技術
16	畑作園芸	蝦名 凜汰朗	水稻栽培におけるマイコス菌を使った栽培での収量・品質調査
17	畑作園芸	葛西 陽奈子	ミニトマトにおける2本仕立て及び新品種の検討

プロジェクト発表 第5部 10:45~11:50

No	課程	氏名	課題名(予定)
18	畑作園芸	工藤 純太	ねぎ栽培における追肥作業の省力化
19	畑作園芸	工藤 拓実	脱プラスチックに向けた緩効性肥料による水稻栽培の導入と慣行栽培との比較調査(2年目)
20	畑作園芸	工藤 由奈	ミニトマトにおける摘花房による着果調整技術の検討
21	畑作園芸	倉館 尚矢	トマトを使用した加工品の試作と販売
22	畑作園芸	小塙 大輝	生分解性ネットによる環境に優しいながいも栽培の検討

〈昼 食〉 11:50~12:30

プロジェクト発表 第6部 12:30~13:35

No	課程	氏名	課題名(予定)
23	畑作園芸	斎藤 はる芽	水稻栽培におけるKSASとファーモ導入による管理作業の省力化
24	畑作園芸	齊藤 心海	夏秋期のいちご栽培における株間が収量や品質に及ぼす影響について
25	畑作園芸	坂本 晃大	リン酸主体の葉面散布剤がにんにくの収量・品質に及ぼす影響
26	畑作園芸	佐藤 玲菜	いちご栽培における2種類のハダニ天敵農薬を用いた防除効果の検証
27	畑作園芸	相馬 功太郎	ミニトマトの高温対策技術の検討

プロジェクト発表 第7部 13:45~14:50

No	課程	氏名	課題名(予定)
28	畑作園芸	田高 芽衣	ごぼう栽培における品種の比較
29	畑作園芸	中島 唯斗	ねぎの消費拡大を目指した加工品の製造
30	畑作園芸	沼山 愛礼	キャベツ夏まき栽培における欠株防止技術の検討
31	畑作園芸	三浦 花音	トルコギキョウにおける遮光とマルチ資材の違いによる高温対策の検討
32	畑作園芸	山本 康慎	肥料の違いがにんにくの収量・品質に及ぼす影響

審査 14:50~15:30

(海外研修報告 15:00~15:20)

閉会式 15:30~15:30

七戸中央公民館 案内図

所在地 青森県上北郡七戸町字森ノ上210

電 話 0176-68-2920

